

漁況予報 い わ し

第199号

【2017年1～2月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

= 概況 =

【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、11月は770kgで前年(5トン)および平年※¹(8.8トン)を大きく下回りました。12月は120kg(速報値)で前年(360kg)および平年(16トン)を大きく下回りました。

まき網は、11月、12月ともに水揚げはありませんでした。

魚体は、相模湾では被鱗体長※²(以下同)12-13cmの0歳魚(2016年生まれ)、東京湾では60gの中羽主体(聞き取り)でした。

【2016年概況】神奈川県における2016年のマイワシ漁獲量は、主要定置網1,280トン、まき網135トンの合計1,415トン(速報値)で、前年(1,426トン)および平年(1,612トン)並で3年連続の1,000トン超えとなりました。これは夏季以降に0歳魚(2016年級群)の漁獲量が伸びたためです。マイワシ太平洋系群は加入量の良好な状況が続いており、今後本県沿岸への更なる来遊に期待したいところです。

【カタクチイワシ】

主要定置網における11月のカタクチイワシ総漁獲量は3トンで、前年(0トン)を上回り平年(7トン)を下回りました。つづく12月の漁獲量(速報値)は21kgで前年(13トン)及び平年(30トン)を大きく下回りました。東京湾のまき網は12月に餌イワシとして断続的に漁獲がありました。

【2016年概況】神奈川県における2016年のカタクチイワシ総漁獲量は、主要定置網1,765トン、まき網344トンの合計2,109トン(速報値)であり、前年(3,188トン)および平年(3,076トン)を大きく下回りました。8月および9月は平年を上回る来遊水準でしたが、6月まで一貫して平年割れだったことが響きました。国等の資源量調査によれば沖合海域における分布量は確実に減少していますので、今後は沿岸発生群の動向を注視していく必要があります。

【シラス】

相模湾のシラス船びき網によるシラス漁獲量(標本船データより推定)は、11月は前年同様、相模湾全体で好漁となり平年を上回りました(前年比1.0倍、平年比1.3倍)。12月は相模湾東部および西部で暮れにかけて小規模な漁場形成がありました。(前年比1.2倍、平年比1.0倍)。

【2016年概況】神奈川県における2016年のシラス総漁獲量(標本船データからの推定

値)は、前年および平年並の429トンとなりました(前年比1.1倍、平年比0.9倍)。前年同様、夏シラスが極度の不漁となる一方で、11月が秋シラスの盛漁期となるといった従来と来遊模様に変化のあった一年でした。

= 予報 =

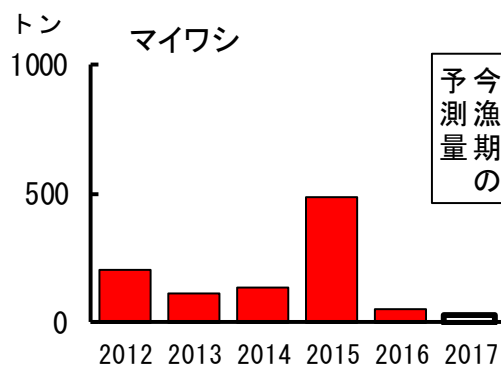
過去5年の1・2月漁期の漁獲量と今漁期の予測量

【マイワシ】

今漁期は、2016年生まれの小中羽マイワシ(13~15cm)が漁獲の主体となるでしょう。

前年同期同様、親潮の南下勢力が弱いため来遊量は伸びないでしょう。

今漁期の漁獲量は、前年を下回る約28トンと予測されます。

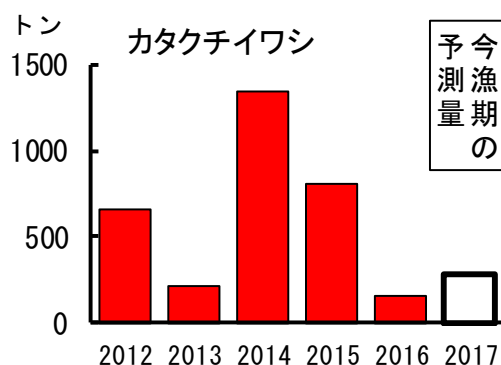


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【カタクチイワシ】

今漁期は、未成魚(7~8cm)及び小型成魚(9~10cm)が漁獲の主体となり、沖合海域から来遊する大型成魚(12~14cm)が僅かに混じるでしょう。

前年同期同様、親潮の南下勢力が弱いため来遊量は伸びないでしょう。今漁期の漁獲量は、前年を上回る約282トンと予測されます。



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【シラス】

神奈川県の上りシラスは、1月1日から3月10日まで禁漁です。当所では解禁後の漁況予測のため、神奈川県上りシラス船曳網漁業連絡協議会の協力により、今年も1~3月に禁漁期調査を実施します。調査の状況については、次号で報告する予定です。

神奈川県水産技術センター企画資源部
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2313